

2021年度の事業計画案

1. 2021年度関東支部シニア会運営委員会の体制案
2. 2021年度関東支部シニア会の事業計画案
3. 新規イベント「エンジニア塾」(仮称)計画案
4. 卒業研究発表講演会コメンテータのお願い

2021年1月15日

日本機械学会関東支部シニア会会長

中山 良一

2021年度のシニア会の体制案は下記とする

(シニア会運営委員会で選任)

会 長	中山 良一
幹 事	野口 昭治
顧 問	村上 俊明
委 員	中村 城治
委 員	笠井 憲一
委 員	新山 時弘
委 員	鳥毛 明
委 員	高屋 真二 (新任)
委 員	曾佐 豊 (新任)
委 員	?? (新任:調整中)

以上, 任期は2年とし再任は1回まで

(支部運営会で選任)

監 事

支部シニア会担当幹事

学生会担当幹事

以上, 任期は原則1年とし再任は1回まで

1. シニア会総会・運営委員会

(1) シニア会総会の開催

当該年度の活動成果ならびに次年度計画について報告し決定、付帯行事として特別講演会・懇親会などを開催する

(2) 運営委員会の開催

シニア会は会務の企画・運営のために3か月に1回を目途に運営委員会を開催する

2. 支部活動に対する支援

(1) 関東学生会卒業研究発表会講演会への参加(2021/3/10)

第60回講演会(Web開催)へコメンテータとして参加し学生との交流を図る

(2) 学生会との交流会(5月予定)

学生会との交流会を継続実施する(2019年度の実施を継続予定, 2020年度は中止)

3. 見学会(6月と11月実施予定:コロナ状況に応じて変更の可能性あり)

6月 航空会社の整備工場など(2020年度 案企画案あり)

11月 中小・中堅企業など

4. シニア会メンバーの交流会

シニア会員が保有する技術・経験などの話題を順次提供(7月, 9月, 11月頃の3回予定)

5. シニア会主催の特別講演会(10月予定)

6. 「エンジニア塾」(新企画)をトライアル実施する(6月頃開始予定:

夏休み工作教室、技術支援など)

7. 2021年度予算 300,000円(残額は支部会計に組み入れ)

関東支部シニア会「こどもエンジニア塾」企画案

「学会横断テーマ」への期待

第98期会長 川田 宏之

2020年度「学会横断テーマ」とテーマリーダー：

- ①少子高齢化社会を支える革新技術の提案: 佐久間一郎 (東京大学)
- ②持続可能社会の実現に向けた技術開発と社会実装: 近久武美 (北海道職業能力開発大学校)
- ③機械・インフラの保守・保全と信頼性強化: 井原郁夫 (長岡技術科学大学)
- ④未来を担う技術人材の育成: 山本誠 (東京理科大学)

将来のエンジニア
育成を継続的に実践

日本機械学会主催の「エンジニア塾」(案)

6/4の人材育成・活躍支援委員会のコメントを受けて、
日本機械学会が主催者として「エンジニア塾」を実施する案を検討
対象者:主として、ジュニア会友(19歳未満の方, 会費は初年度500円のみ)

将来の学生会員, 正会員への発展性を期待

一般参加者に対して, ジュニア会友登録を促す

実施場所:各支部およびブロックを想定

見学会などのアレンジ, 団体に活動が比較的实施がしやすい

実施主体:各支部の学生会とシニア会の合同企画・運営

(メインは継続性を考慮してシニア会)

実施内容:博物館, 科学館, 企業施設などの見学(事前, 事後に学習)

スケジュール案

4月 対象者募集(事前準備はシニア会が実施)

6月 塾の狙いとスケジュール説明(狙い説明は支部アナウンス, スケジュール説明はブロック)

7-12月 見学会(2-3ヶ所) 事前説明と事後レポート(引率:学生会, シニア会)
ものづくり体験(ロボットなど), ことづくり学習(未来を考える)
大学などの学園祭で, 体験教育などを実施

3月 修了式(子供と親に対する講演会なども実施)

⇒次年度のスケジュール説明などでPR

2021年度はトライアルとして, 関東支部のブロックで10名程度のジュニア会友を集めて実施予定.
2021年3月より詳細検討開始

関東支部シニア会2021年度予算(案)

収入

費 目	予算額	
支部からの補助金	300,000	
合計	300,000	

支出

費 目	予算額	摘 要
旅費交通費	35,000	会議関係
総会会場費	0	Web開催
総会懇親会費	0	Web開催
特別講演会費	140,000	会場費, 講師謝礼
特別講演会懇親会参加費	-60,000	3,000 × 20名
見学会費(2回)	5,000	
交流会費(3回)	200,000	含むWeb開催
交流会懇親会参加費(2回)	-120,000	3,000 × 40名
子供向けイベント	50,000	トライアル実施
雑費	20,000	Webサイト利用料
予備費	30,000	
合計	300,000	

学生員卒業研究発表講演会コメンテータのお願い

1. 日 程: 2021年3月10日(水)AM9:00~PM15:00
2. 会 場: **Web開催**(自宅、勤務先からアクセスください)
3. 講演室数: 10室(講演数: 約200件) (一昨年の2/3規模)
4. コメンテータは各講演室に1名以上 (一昨年実績コメンテータ26名)
(Webでの対応を考慮し、**午前1名、午後1名で半日1名分担任予定**: 別途調整)
午前・午後の講演間の昼休みは30分 (Best Presentation Award審査含む)

	第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室	第7室	第8室	第9室	第10室
AM9:00 ~10:15	計算力学5	バイオエン 지니어リング5	バイオエン 지니어リング5	設計工学・システム	ロボティクス・ メカトロニクス5	ロボティクス・ メカトロニクス5	流体工学5	機械力学・計測制御5	熱工学5	機素潤滑設計5
AM10:30: ~11:45	計算力学2	バイオエン 지니어リング5	バイオエン 지니어リング5	設計工学・システム	ロボティクス・ メカトロニクス5	ロボティクス・ メカトロニクス	流体工学5	機械力学・計測制御5	熱工学5	機素潤滑設計5
	機械材料・材料加工3			材料力学2		なし				
PM12:15 ~13:30	機械材料・材料加工5	バイオエン 지니어リング5	バイオエン 지니어リング5	材料力学5	ロボティクス・ メカトロニクス5	マイクロ・ナノ工学5	流体工学5	機械力学・計測制御5	熱工学4	機素潤滑設計4
									流体工学1	交通・物流1
PM13:45 ~15:00	機械材料・材料加工3	バイオエン 지니어リング5	バイオエン 지니어リング5	材料力学4	ロボティクス・ メカトロニクス5	マイクロ・ナノ工学5	流体工学5	機械力学・計測制御2	スポーツ工学・ヒュー マンダイナミクス2	環境工学3
	バイオエンジニアリン グ2			なし				生産加工・工作機械3	技術と社会2	動力エネルギー システム2
午前担当	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上
午後担当	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上

分類(部門名)と数字は講演数

5. 学生会から依頼

◎コメンテータの役割

(1)各発表者へアドバイス

(2)学生優秀発表賞〔Best Presentation Award (BPA)〕審査員(各講演室1名)
コメンテータが2名の場合は、どちらか1名が審査を担当

**すでに昨年度参加予定者について、メールで調査依頼中(25名から回答あり)
なお未回答者はWebにて、是非ご回答をお願いします
⇒分担案別途連絡済み、調整は別途実施致します(1/9 メール送付済み)**

なお、コメントは発表の姿勢や研究に対する考え方などを中心として、研究内容の詳細へのアドバイスを求めている訳ではありません。機械分野の先輩としてのアドバイスを宜しくお願い致します。

○BPA審査方法については、支部にて検討中、実施方法など別途連絡予定

2021年4月以降の対応策

2020年7月13日

組織長各位

一般社団法人 日本機械学会
会長 川田 宏之
筆頭副会長 佐田 豊

「新型コロナウイルス感染症」に対する本会企画行事等における対応のお願い(No. 5)

本会では本年5月13日付にて、本年中は講演会、講習会、懇親会など人が集まる形での行事や会合などの開催を避けることを決定とする一方で、機械技術者、本学会員へ情報交換の場をより多く提供することも本会の使命であることから、行事を中止するのではなく Web 会議システムを利用して可能な限り開催する方向で検討をお願いして参りました。

今般、理事会において、本年中の行事や会合などの開催可否を再度検討した結果、現在の新型コロナウイルスの感染動向を鑑み、2021年3月末までは上記と同様の方針を継続することといたしました。但し、Web 会議システム等を利用した開催が不可（困難）であり、開催に対する会員・社会からの要請が高い行事や会合に対しては、その開催必要性和感染防止対策の適切性を企画側により申請（自己判定）いただき、開催について、理事会にて承認された場合に限り、開催を可といたします。本会所定の申請書（行事企画判定リスト）につきましては、本会事務局までお問合せ下さい。

Web 会議システムの利用につきましては、本会内でも複数の開催例もあり、年次大会をはじめ多くの行事では検討が進んでいます（下記 HP の「開催形態を変更して実施」をご覧ください）。Web 開催にあたりご不明な点は、本会事務局においても可能な範囲でご相談を受けさせていただきますので、各組織長におかれましては、Web 会議システムの積極的な活用をご検討いただきますようお願い申し上げます。

今般、理事会において、2021年4月以降の行事や会合などの開催可否を再度検討した結果、現在の新型コロナウイルスの感染動向を鑑み、**2021年8月末までは上記と同様の方針を継続することといたしました。**具体的には以下の方針に従い、行事の企画・実行をお願いいたします。

方針1：講習会・講演会等の集会行事、及び組織の会合は原則、Web 会議システムを利用しての開催といたします。*

方針2：支部による物理的開催行事などまたは、物理的開催の行事参加者の移動が特定地域に限定される場合、その地域内の新規感染者数が一定数以下（新型コロナウイルス感染状況4つのステージにおけるステージ2以下）である場合は、タスクフォース（理事会）の了解は不要とし、開催を可能といたします。ただし、タスクフォース（理事会）への開催通知・開催判断理由の連絡は必要とし、実行直前（1か月前）に感染者数が一定数以上（ステージ3以上）となった場合は、Web による開催または中止といたします。

方針3：方針2に従い、物理的開催を企画する場合は、開催地域及び開催場所が提示する新型コロナウイルス感染予防指針・ガイドラインの遵守を徹底し、行事の企画・実行グループの母体の組織（支部幹事会など）が感染対策の適切性を確認の上で、実行を承認することとします。

※ただし、上記方針2に該当しない（参加者の移動が特定の地域を超える、または感染者数がステージ3以上である）場合であっても、以下の行事や会合の開催は、開催の必要性和感染防止対策の適切性を企画側により申請いただき、タスクフォース（理事会）にて実行の可否を判定させていただくことで、開催を可能とします。

- ① Web 会議システムと物理的開催を併用するハイブリッド開催
- ② Web 会議システム等を利用した開催が不可（困難）であり、開催に対する会員・社会からの要請が高い行事や会合

2021年9月以降につきましては、オリンピック開催の動向も鑑みて、あらためて検討することといたします。

**来年度もシニア会活動へのご支援・ご協力を
よろしくお願いいたします**